

## 安全データシート

### セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

#### 物質または混合物情報

製品コード 00-8222-758  
製品名 IC Fixation Buffer, 20 ml

#### 会社/企業情報

Life Technologies Corporation  
5781 Van Allen Way  
PO Box 6482  
Carlsbad, CA 92008  
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
住友不動産三田ツインビル東館  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
TEL 03(6832)9300

Affymetrix  
3420, Central Expressway  
Santa Clara  
CA 95051

24 hour Emergency Response for Hazardous Materials [or Dangerous Goods] Incident. Spill, Leak, Fire, Exposure, or Accident. Call CHEMTREC Within the USA + Canada: 1-800-424-9300 and +1 703-527-3887  
Outside the USA + Canada: +1 703-741-5970

Country specific Emergency Number (if available):  
CHEMTREC Japan (Tokyo) +(81)-345209637 (日本語)

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures

### セクション2： 危険有害性の要約

#### GHS - 分類

注意喚起語  
危険

危険有害性を表す絵表示





### 健康危険有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
皮膚の感作	区分 1
特定の臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分 2
発がん性	区分 1A
変異原性	変異原性区分2

### 物理的危険有害性

分類できない

### 環境危険有害性

分類できない

### 危険有害性情報

- H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす
- H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H318 - 重篤な眼の損傷
- H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い
- H350 - 発がんのおそれ
- H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

### 注意書き

#### 予防

- P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること
- P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/スプレーを吸入しないこと
- P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること

#### Response

- P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
- P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること
- P314 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること
- P333 + P313 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること

#### Storage

該当せず

#### 廃棄

- P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

### その他の危険性

該当せず

### セクション3： 組成および成分情報

Component	CAS番号	重量パーセント
パラホルムアルデヒド 30525-89-4 ( 1-5 )	30525-89-4	1-5

すべての化学物質を注意深く取り扱う。

### セクション4： 応急処置

#### 応急措置の記載

##### 皮膚接触 眼との接触

多量の水で洗い流してください。直ちに医師の手当てを受ける必要はない。  
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをつけている場合、外しやすければ、レンズを外してください。

##### 経口摂取

本物質の通常使用での予測される状況で、重大な摂取問題が発生する可能性はありません。気分が優れない場合は医師の診察を受けてください。

##### 吸入

本物質の通常使用での予測される状況で、吸入毒性となる可能性はありません。必要であれば医師にご相談ください。

##### 医師に対する注意事項

症状に応じて治療すること。

#### 急性症状及び慢性症状の最も重要な徴候症状および作用

H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 - 重篤な眼の損傷 H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 - 発がんのおそれ H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

#### 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

### セクション5： 火災時の措置

#### 消火剤

適切な消火剤  
使ってはならない消火剤

水噴霧、二酸化炭素 (CO2)、泡消火剤、粉末消火剤。  
利用可能な情報はない。

#### 化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

不明。

#### 消火を行う者への助言

化学火災時の標準手順。

### セクション6： 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

十分換気されているか確認すること。常に推奨される個人防護用具を着用してください。個人用保護具を使用すること。詳細については、第8項を参照してください。

#### 環境に対する注意事項

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び器材

不活性吸収剤に吸収させます。

#### 他のセクションを参照

詳細はセクション8を参照。

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

指定された個人保護具を使用すること。

### 混蝕危険物質を含む、安全な保管条件

乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。適切にラベル表示された容器に保管してください。

### 特定最終用途

調査用途のみ。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 管理パラメーター

化学物質名	Japan REL - Ceiling Limits	暴露限界値、生物学的暴露指標
パラホルムアルデヒド 30525-89-4	なし	なし

#### 工学的制御手段

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること

### 暴露防止

#### 個人用保護具

#### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適切な政府規格で検査および承認された呼吸用マスクおよび器具を着用してください。

#### 手の保護

適切な手袋を着用する 手袋の素材：適合する耐薬品性手袋。

#### 眼の保護

密封性の高い安全ゴーグル

#### 皮膚および身体の保護

適切な保護衣を着用する

#### 衛生的手段

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと

#### 環境暴露防止

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

## セクション9： 物理的及び化学的特性

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

外観	液体
臭い	データなし
pH	データなし
融点/融点範囲	° C 混合物はテストされていません
沸点 / 沸点範囲	° C 混合物はテストされていません
引火点	° C 混合物はテストされていません
自然発火温度	° C 混合物はテストされていません
分解温度	° C 混合物はテストされていません
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
爆発上限界	混合物はテストされていません
爆発下限界	混合物はテストされていません
蒸気圧	混合物はテストされていません
相対密度	混合物はテストされていません
比重	データなし
溶解度	データなし
n - オクタノール/水分配係数	データなし
爆発性	混合物はテストされていません
その他の情報	データなし

## セクション10： 安定性及び反応性

反応性	知見なし.
化学的安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応の可能性	危険反応は報告されておりません.
避けるべき条件	利用可能な情報はない.
混蝕危険物質	通常の使用条件下における危険な反応は報告されていません.
危険有害な分解生成物	データなし.

## セクション11： 有害性情報

### 有害影響に関する情報

化学物質名	LD50 (oral, rat/mouse)	LD50 (dermal, rat/rabbit)	LC50 (inhalation, rat/mouse)
パラホルムアルデヒド	= 800 mg/kg (Rat)	データなし	170 mg/m <sup>3</sup>

### 主な暴露経路

刺激	?d “A?E?U?I ‘1??/?U?I?h??, 軽度の皮膚刺激
腐食性	決定的ではあるが分類には不十分
感作	皮膚接触により感作を引き起こすことがある
STOT - 単回暴露	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 反復暴露	標的臓器: 呼吸器系
発がん性	Contains a known or suspected carcinogen
変異原性	製品、または製品に含有される化学物質は、ヒトの胚細胞における突然変異の原因となる場合があります
生殖毒性	決定的ではあるが分類には不十分
吸引性呼吸器有害性	決定的ではあるが分類には不十分

## セクション12： 環境影響情報

### 生態毒性

この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

化学物質名	Freshwater Algae Data	Water Flea Data	Freshwater Fish Species Data	Microtox Data	log Pow
パラホルムアルデヒド	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし

残留性・分解性                      利用可能な情報はない。

生態蓄積性                            利用可能な情報はない。

### PBTおよびvPvBの評価結果

利用可能な情報はない。

その他の有害影響                    利用可能な情報はない。

## セクション13： 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

廃棄物を発生させないように努め、可能な限り最小限に抑えるようにしてください。空容器または中の敷物には、製品の残留物が残っていることがあります。残留物およびその容器は、認可された廃棄手順に従って廃棄する必要があります。本製品、その溶液またはその副産物のいずれを廃棄する際も、地元、地域または国/連邦政府が適用するすべての要件に準拠する必要があります。

## セクション14： 輸送上の注意

IATA / ADR / DOT-US / IMDG  
Not regulated in the meaning of transport regulations.

UN番号 該当しない  
 国連輸送名 該当せず  
 Transport hazard class(es) 該当しない  
 包装等級 該当せず  
 環境危険有害性 該当せず  
 ユーザーに対する特別な予防措置 該当せず

MARPOL 73/78付属文書II及びIBCコードによりばら積み輸送される  
 該当せず。

## セクション15： 適用法令

### 法規制一覧

濃度・形状により該当/非該当が分かれる成分については法令適用条件を記載しています。該非判定にはセクション3の濃度、およびセクション9の形状をご参照下さい。

化学物質名	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	労働安全衛生法 変異原性物質 - 新規届出化学物質	労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 変異原性物質 - 既存化学物質
バラホルムアルデヒド	非該当	非該当	非該当	変異原性が認められた既存化学物質(1%以下は非該当)

化学物質名	化学物質排出把握管理促進法 - 第1種指定化学物質	化学物質排出把握管理促進法 - 第2種指定化学物質	毒物及び劇物取締法
バラホルムアルデヒド	非該当	非該当	劇物(1%以下は非該当)

化学物質名	消防法 - 危険物	消防法 - 貯蔵等の届け出を要する物質
バラホルムアルデヒド	非該当	指定可燃物、可燃性固体類(指定数量 3000 kg)

## セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改定理由 (化学物質等)安全性データシートの内容を更新。

改定日 2017-2-21  
 製品コード 00-8222-758

ページ 7 / 8  
 製品名 IC Fixation Buffer, 20 ml

改定番号 2  
改定日 2017-2-21

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

#### 参考資料

- ・ ECHA: <http://echa.europa.eu/>
- ・ TOXNET: <http://toxnet.nlm.nih.gov/>
- ・ eChemPortal: <http://www.echemportal.org/>
- ・ LOLI database: <https://www.chemadvisor.com/loli-database>

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには十分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上



## 安全データシート

### セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

#### 物質または混合物情報

製品コード 00-16000-53  
製品名 PrimeFlow RNA PreAmp Mix, 10 ml

#### 会社/企業情報

Life Technologies Corporation  
5781 Van Allen Way  
PO Box 6482  
Carlsbad, CA 92008  
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
住友不動産三田ツインビル東館  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
TEL 03(6832)9300

Affymetrix  
3420, Central Expressway  
Santa Clara  
CA 95051

24 hour Emergency Response for Hazardous Materials Within the USA + Canada: 1-800-424-9300 and +1  
[or Dangerous Goods] Incident. Spill, Leak, Fire, 703-527-3887  
Exposure, or Accident. Call CHEMTREC Outside the USA + Canada: +1 703-741-5970

Country specific Emergency Number (if available):  
CHEMTREC Japan (Tokyo) +(81)-345209637 (日本語)

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures

### セクション2： 危険有害性の要約

#### GHS - 分類

注意喚起語  
危険

危険有害性を表す絵表示



#### 健康危険有害性

特定の臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分 2
-------------------	------

発がん性	区分 2
------	------

改定日 2017-2-21  
製品コード 00-16000-53

ページ 1 / 8  
製品名 PrimeFlow RNA PreAmp Mix, 10 ml

**物理的危険有害性**  
分類できない**環境危険有害性**  
分類できない**危険有害性情報**

- H360 - 飲み込むと生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 H351 - 飲み込むと発がんのおそれの疑い  
 H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

**注意書き****予防**

- P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること  
 P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
 P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/スプレーを吸入しないこと  
 P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること  
 P281 - 指定された個人保護具を使用すること

**Response**

- P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること  
 P314 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること

**Storage**

該当せず

**廃棄**

- P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

**その他の危険性**

該当せず

## セクション3： 組成および成分情報

Component	CAS番号	重量パーセント
ホルムアミド 75-12-7 ( 20-40 )	75-12-7	20-40

すべての化学物質を注意深く取り扱う。.

## セクション4： 応急処置

### 応急措置の記載

皮膚接触	直ちに眼を少なくとも15分間水で洗浄すること。汚染された衣服と手袋を脱ぎ、再度着用する前にそれらを洗浄(内側を含む)してください。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
眼との接触	少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
経口摂取	意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。飲み込んだ場合、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)こと。肺に対する重篤な障害のリスク(吸入による)。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
医師に対する注意事項	症状に応じて治療すること。

### 急性症状及び慢性症状の最も重要な徴候症状および作用

H360 - 飲み込むと生殖能または胎児への悪影響のおそれ H351 - 飲み込むと発がんのおそれの疑い H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

### 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

## セクション5： 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤	泡消火剤、乾燥粉末、粉末消火剤、二酸化炭素(CO2)、水噴霧。
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	不明。
消火を行う者への助言	自給式呼吸装置および保護服を着用すること。

## セクション6： 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

蒸気への暴露を避けること。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。十分換気されているか確認すること。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。個人用保護具を使用すること。詳細については、第8項を参照してください。

### 環境に対する注意事項

### 封じ込め及び浄化の方法及び器材

不活性吸収剤(砂、シリカゲル、酸結合物質、汎用結合物質、おがくずなど)で吸収すること。ほうきで集め、シャベルで適切な容器に入れて廃棄すること。汚染された表面を十分に浄化すること。

### 他のセクションを参照

詳細はセクション8を参照。

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

常に推奨される個人防護用具を着用してください。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。眼、皮膚、衣類につけないこと。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。通常の使用中に原料から呼吸器系に対する危険が生じる場合は、十分な換気を行う、適切な保護マスクを着用する、またはそれら両方を行ってください。詳細については、第8項を参照してください。

### 混触危険物質を含む、安全な保管条件

適切にラベル表示された容器に保管してください。乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。現地の規則に従って保管すること。可燃物から離して保管する。

### 特定最終用途

調査用途のみ。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 管理パラメーター

化学物質名	Japan REL - Ceiling Limits	暴露限界値、生物学的暴露指標
ホルムアミド 75-12-7	なし	なし

#### 工学的制御手段

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること

### 暴露防止

#### 個人用保護具

#### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適切な政府規格で検査および承認された呼吸用マスクおよび器具を着用してください。

#### 手の保護

手袋の素材： ニトリルゴム 厚さ(mm) :5 破過時間 (時間) :>1  
推奨手袋タイプについて、本製品との使用におけるテストは行われていません 情報は専門的な知識に基づくものです

#### 眼の保護

密封性の高い安全ゴーグル

#### 皮膚および身体の保護

身体保護のため、実験着を着用してください

#### 衛生的手段

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと

#### 環境暴露防止

## セクション9： 物理的及び化学的特性

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

外観	液体	
臭い	混合物はテストされていません	
臭いのしきい値	混合物はテストされていません	
pH	データなし	
融点/融点範囲	° C 0-2.5	° F 32-36.5
沸点 / 沸点範囲	° C 100-210	° F 212-410
引火点	° C >120	° F >248
自然発火温度	° C >500	° F >932
分解温度	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
蒸発速度	データなし	
燃焼性(固体、気体)	該当せず	
爆発上限界	混合物はテストされていません	
爆発下限界	混合物はテストされていません	
蒸気圧	混合物はテストされていません	
相対密度	混合物はテストされていません	
比重	データなし	
溶解度	水に溶解性	
n - オクタノール/水分配係数	データなし	
粘度	混合物はテストされていません	
爆発性	混合物はテストされていません	
酸化特性	混合物はテストされていません	
その他の情報	データなし	

## セクション10： 安定性及び反応性

反応性	知見なし.
化学的安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応の可能性	危険反応は報告されておりません.
避けるべき条件	高温. 完成品の熱分解は (>140 ° C) >284 °Cを超えると起こります. .
混蝕危険物質	酸化剤. 酸. 塩基. 三酸化硫黄. Iodine.
危険有害な分解生成物	一酸化炭素. シアン化水素(青酸). 窒素酸化物(NOx).

## セクション11： 有害性情報

### 有害影響に関する情報

化学物質名	LD50 (oral, rat/mouse)	LD50 (dermal, rat/rabbit)	LC50 (inhalation, rat/mouse)
ホルムアミド	3200 mg/kg	13500 mg/kg	3900 ppm/6H

### 主な暴露経路

刺激	決定的ではあるが分類には不十分
腐食性	決定的ではあるが分類には不十分
感作	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 単回暴露	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 反復暴露	標的臓器: : 心臓血管系 造血系
発がん性	Contains a known or suspected carcinogen
変異原性	決定的ではあるが分類には不十分
生殖毒性	生殖有害影響を生じるおそれ - 先天性異常、流産、または不妊症など
吸引性呼吸器有害性	決定的ではあるが分類には不十分

## セクション12： 環境影響情報

### 生態毒性

この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

化学物質名	Freshwater Algae Data	Water Flea Data	Freshwater Fish Species Data	Microtox Data	log Pow
ホルムアミド	Desmodesmus subspicatus EC50>500 mg/L (72 h) Desmodesmus subspicatus EC50>500 mg/L (96 h)	Daphnia magna EC50>500 mg/L (48 h)	データなし	データなし	logPow=0.82

残留性・分解性	易生物分解性.
生態蓄積性	物質は生物蓄積されない.
PBTおよびvPvBの評価結果	利用可能な情報はない.
その他の有害影響	利用可能な情報はない.

## セクション13： 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

廃棄物を発生させないように努め、可能な限り最小限に抑えるようにしてください。空容器または中の敷物には、製品の残留物が残っていることがあります。残留物およびその容器は、認可された廃棄手順に従って廃棄する必要があります。本製品、その溶液またはその副産物のいずれを廃棄する際も、地元、地域または国/連邦政府が適用するすべての要件に準拠する必要があります。

## セクション14： 輸送上の注意

IATA / ADR / DOT-US / IMDG  
Not regulated in the meaning of transport regulations.

UN番号 該当しない  
 国連輸送名 該当せず  
 Transport hazard class(es) 該当しない  
 包装等級 該当せず  
 環境危険有害性 該当せず  
 ユーザーに対する特別な予防措置 該当せず

MARPOL 73/78付属文書II及びIBCコードによりばら積み輸送される  
 該当せず。

## セクション15： 適用法令

### 法規制一覧

濃度・形状により該当/非該当が分かれる成分については法令適用条件を記載しています。該非判定にはセクション3の濃度、およびセクション9の形状をご参照下さい。

化学物質名	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	労働安全衛生法 変異原性物質 - 新規届出化学物質	労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 変異原性物質 - 既存化学物質
ホルムアミド	非該当	非該当	該当(0.1%未満は非該当)	非該当

化学物質名	労働安全衛生法 がん原性に係る指針対象物質	労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 危険物	労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則	労働安全衛生法 腐食性液体
ホルムアミド		該当(0.3%未満は非該当)			

化学物質名	消防法 - 危険物	消防法 - 貯蔵等の届け出を要する物質
ホルムアミド	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(可燃性液体量が40%以下の場合、非該当)	指定数量 4000 L

## セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改定理由 (化学物質等)安全性データシートの内容を更新。  
改定番号 2  
改定日 2017-2-21

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

#### 参考資料

- ・ ECHA: <http://echa.europa.eu/>
- ・ TOXNET: <http://toxnet.nlm.nih.gov/>
- ・ eChemPortal: <http://www.echemportal.org/>
- ・ LOLI database: <https://www.chemadvisor.com/loli-database>

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには十分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上



## 安全データシート

### セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

#### 物質または混合物情報

製品コード 00-16001-53  
製品名 PrimeFlow RNA Amp Mix, 10 ml

#### 会社/企業情報

Life Technologies Corporation  
5781 Van Allen Way  
PO Box 6482  
Carlsbad, CA 92008  
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
住友不動産三田ツインビル東館  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
TEL 03(6832)9300

Affymetrix  
3420, Central Expressway  
Santa Clara  
CA 95051

24 hour Emergency Response for Hazardous Materials Within the USA + Canada: 1-800-424-9300 and +1  
[or Dangerous Goods] Incident. Spill, Leak, Fire, 703-527-3887  
Exposure, or Accident. Call CHEMTREC Outside the USA + Canada: +1 703-741-5970

Country specific Emergency Number (if available):  
CHEMTREC Japan (Tokyo) +(81)-345209637 (日本語)

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures

### セクション2： 危険有害性の要約

#### GHS - 分類

注意喚起語  
危険

危険有害性を表す絵表示



#### 健康危険有害性

特定の臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分 2
-------------------	------

発がん性	区分 2
------	------

改定日 2017-2-21  
製品コード 00-16001-53

ページ 1 / 8  
製品名 PrimeFlow RNA Amp Mix, 10 ml

**物理的危険有害性**

分類できない

**環境危険有害性**

分類できない

**危険有害性情報**

H360 - 飲み込むと生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H351 - 飲み込むと発がんのおそれの疑い

H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

**注意書き****予防**

P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること

P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

P260 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／スプレーを吸入しないこと

P280 - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること

P281 - 指定された個人保護具を使用すること

**Response**

P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること

P314 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること

**Storage**

該当せず

**廃棄**

P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

**その他の危険性**

該当せず

## セクション3： 組成および成分情報

Component	CAS番号	重量パーセント
ホルムアミド 75-12-7 ( 20-40 )	75-12-7	20-40

すべての化学物質を注意深く取り扱う。.

## セクション4： 応急処置

### 応急措置の記載

皮膚接触	直ちに眼を少なくとも15分間水で洗浄すること。汚染された衣服と手袋を脱ぎ、再度着用する前にそれらを洗浄(内側を含む)してください。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
眼との接触	少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
経口摂取	意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。飲み込んだ場合、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)こと。肺に対する重篤な障害のリスク(吸入による)。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
医師に対する注意事項	症状に応じて治療すること。

### 急性症状及び慢性症状の最も重要な徴候症状および作用

H360 - 飲み込むと生殖能または胎児への悪影響のおそれ H351 - 飲み込むと発がんのおそれの疑い H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

### 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

## セクション5： 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤	泡消火剤、乾燥粉末、粉末消火剤、二酸化炭素(CO2)、水噴霧。
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	不明。
消火を行う者への助言	自給式呼吸装置および保護服を着用すること。

## セクション6： 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

蒸気への暴露を避けること。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。十分換気されているか確認すること。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。個人用保護具を使用すること。詳細については、第8項を参照してください。

### 環境に対する注意事項

### 封じ込め及び浄化の方法及び器材

不活性吸収剤(砂、シリカゲル、酸結合物質、汎用結合物質、おがくずなど)で吸収すること。ほうきで集め、シャベルで適切な容器に入れて廃棄すること。汚染された表面を十分に浄化すること。

### 他のセクションを参照

詳細はセクション8を参照。

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

常に推奨される個人防護用具を着用してください。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。眼、皮膚、衣類につけないこと。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。通常の使用中に原料から呼吸器系に対する危険が生じる場合は、十分な換気を行う、適切な保護マスクを着用する、またはそれら両方を行ってください。詳細については、第8項を参照してください。

### 混触危険物質を含む、安全な保管条件

適切にラベル表示された容器に保管してください。乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。現地の規則に従って保管すること。可燃物から離して保管する。

### 特定最終用途

調査用途のみ。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 管理パラメーター

化学物質名	Japan REL - Ceiling Limits	暴露限界値、生物学的暴露指標
ホルムアミド 75-12-7	なし	なし

#### 工学的制御手段

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること

### 暴露防止

#### 個人用保護具

#### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適切な政府規格で検査および承認された呼吸用マスクおよび器具を着用してください。

#### 手の保護

手袋の素材： ニトリルゴム 厚さ(mm) :5 破過時間 (時間) :>1  
推奨手袋タイプについて、本製品との使用におけるテストは行われていません 情報は専門的な知識に基づくものです

#### 眼の保護

密封性の高い安全ゴーグル

#### 皮膚および身体の保護

身体保護のため、実験着を着用してください

#### 衛生的手段

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと

#### 環境暴露防止

## セクション9： 物理的及び化学的特性

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

外観	液体	
臭い	混合物はテストされていません	
臭いのしきい値	混合物はテストされていません	
pH	データなし	
融点/融点範囲	° C 0-2.5	° F 32-36.5
沸点 / 沸点範囲	° C 100-210	° F 212-410
引火点	° C >120	° F >248
自然発火温度	° C >500	° F >932
分解温度	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
蒸発速度	データなし	
燃焼性(固体、気体)	該当せず	
爆発上限界	混合物はテストされていません	
爆発下限界	混合物はテストされていません	
蒸気圧	混合物はテストされていません	
相対密度	混合物はテストされていません	
比重	データなし	
溶解度	水に溶解性	
n - オクタノール/水分配係数	データなし	
粘度	混合物はテストされていません	
爆発性	混合物はテストされていません	
酸化特性	混合物はテストされていません	
その他の情報	データなし	

## セクション10： 安定性及び反応性

反応性	知見なし.
化学的安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応の可能性	危険反応は報告されておりません.
避けるべき条件	高温度. 完成品の熱分解は (>140 ° C) >284 °Cを超えると起こります. .
混蝕危険物質	酸化剤. 酸. 塩基. 三酸化硫黄. Iodine.
危険有害な分解生成物	一酸化炭素. シアン化水素(青酸). 窒素酸化物(NOx).

## セクション11： 有害性情報

### 有害影響に関する情報

化学物質名	LD50 (oral, rat/mouse)	LD50 (dermal, rat/rabbit)	LC50 (inhalation, rat/mouse)
ホルムアミド	3200 mg/kg	13500 mg/kg	3900 ppm/6H

### 主な暴露経路

刺激	決定的ではあるが分類には不十分
腐食性	決定的ではあるが分類には不十分
感作	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 単回暴露	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 反復暴露	標的臓器: : 心臓血管系 造血系
発がん性	Contains a known or suspected carcinogen
変異原性	決定的ではあるが分類には不十分
生殖毒性	生殖有害影響を生じるおそれ - 先天性異常、流産、または不妊症など
吸引性呼吸器有害性	決定的ではあるが分類には不十分

## セクション12： 環境影響情報

### 生態毒性

この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

化学物質名	Freshwater Algae Data	Water Flea Data	Freshwater Fish Species Data	Microtox Data	log Pow
ホルムアミド	Desmodesmus subspicatus EC50>500 mg/L (72 h) Desmodesmus subspicatus EC50>500 mg/L (96 h)	Daphnia magna EC50>500 mg/L (48 h)	データなし	データなし	logPow=0.82

残留性・分解性	易生物分解性.
生態蓄積性	物質は生物蓄積されない.
PBTおよびvPvBの評価結果	利用可能な情報はない.
その他の有害影響	利用可能な情報はない.

## セクション13： 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

廃棄物を発生させないように努め、可能な限り最小限に抑えるようにしてください。空容器または中の敷物には、製品の残留物が残っていることがあります。残留物およびその容器は、認可された廃棄手順に従って廃棄する必要があります。本製品、その溶液またはその副産物のいずれを廃棄する際も、地元、地域または国/連邦政府が適用するすべての要件に準拠する必要があります。

## セクション14： 輸送上の注意

IATA / ADR / DOT-US / IMDG  
Not regulated in the meaning of transport regulations.

UN番号 該当しない  
 国連輸送名 該当せず  
 Transport hazard class(es) 該当しない  
 包装等級 該当せず  
 環境危険有害性 該当せず  
 ユーザーに対する特別な予防措置 該当せず

MARPOL 73/78付属文書II及びIBCコードによりばら積み輸送される  
 該当せず。

## セクション15： 適用法令

### 法規制一覧

濃度・形状により該当/非該当が分かれる成分については法令適用条件を記載しています。該非判定にはセクション3の濃度、およびセクション9の形状をご参照下さい。

化学物質名	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	労働安全衛生法 変異原性物質 - 新規届出化学物質	労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 変異原性物質 - 既存化学物質
ホルムアミド	非該当	非該当	該当(0.1%未満は非該当)	非該当

化学物質名	労働安全衛生法 がん原性に係る指針対象物質	労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 危険物	労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則	労働安全衛生法 腐食性液体
ホルムアミド		該当(0.3%未満は非該当)			

化学物質名	消防法 - 危険物	消防法 - 貯蔵等の届け出を要する物質
ホルムアミド	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(可燃性液体量が40%以下の場合、非該当)	指定数量 4000 L

## セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改定理由 (化学物質等)安全性データシートの内容を更新。  
改定番号 2  
改定日 2017-2-21

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

#### 参考資料

- ・ ECHA: <http://echa.europa.eu/>
- ・ TOXNET: <http://toxnet.nlm.nih.gov/>
- ・ eChemPortal: <http://www.echemportal.org/>
- ・ LOLI database: <https://www.chemadvisor.com/loli-database>

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには十分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上



## 安全データシート

### セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

#### 物質または混合物情報

製品コード 00-18100-54  
製品名 FlowRNA II Fix Buffer 1A, 50ml

#### 会社/企業情報

Life Technologies Corporation  
5781 Van Allen Way  
PO Box 6482  
Carlsbad, CA 92008  
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
住友不動産三田ツインビル東館  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
TEL 03(6832)9300

Affymetrix  
3420, Central Expressway  
Santa Clara  
CA 95051

24 hour Emergency Response for Hazardous Materials [or Dangerous Goods] Incident. Spill, Leak, Fire, Exposure, or Accident. Call CHEMTREC Within the USA + Canada: 1-800-424-9300 and +1 703-527-3887  
Outside the USA + Canada: +1 703-741-5970

Country specific Emergency Number (if available):  
CHEMTREC Japan (Tokyo) +(81)-345209637 (日本語)

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures

### セクション2： 危険有害性の要約

#### GHS - 分類

注意喚起語  
危険

危険有害性を表す絵表示





### 健康危険有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
皮膚の感作	区分 1
特定の臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分 2

発がん性	区分 1A
変異原性	変異原性区分2

### 物理的危険有害性

分類できない

### 環境危険有害性

分類できない

### 危険有害性情報

- H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす
- H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H318 - 重篤な眼の損傷
- H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い
- H350 - 発がんのおそれ
- H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

### 注意書き

#### 予防

- P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること
- P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/スプレーを吸入しないこと
- P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること

#### Response

- P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
- P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること
- P333 + P313 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- P314 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること

#### Storage

該当せず

#### 廃棄

- P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

### その他の危険性

該当せず

### セクション3： 組成および成分情報

Component	CAS番号	重量パーセント
パラホルムアルデヒド 30525-89-4 ( 1-5 )	30525-89-4	1-5

すべての化学物質を注意深く取り扱う。

### セクション4： 応急処置

#### 応急措置の記載

#### 皮膚接触 眼との接触

多量の水で洗い流してください。直ちに医師の手当てを受ける必要はない。  
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをつけている場合、外しやすければ、レンズを外してください。

#### 経口摂取

本物質の通常使用での予測される状況で、重大な摂取問題が発生する可能性はありません。気分が優れない場合は医師の診察を受けてください。

#### 吸入

本物質の通常使用での予測される状況で、吸入毒性となる可能性はありません。必要であれば医師にご相談ください。

#### 医師に対する注意事項

症状に応じて治療すること。

#### 急性症状及び慢性症状の最も重要な徴候症状および作用

H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 - 重篤な眼の損傷 H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 - 発がんのおそれ H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

#### 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

### セクション5： 火災時の措置

#### 消火剤

適切な消火剤  
使ってはならない消火剤

水噴霧、二酸化炭素 (CO2)、泡消火剤、粉末消火剤。  
利用可能な情報はない。

#### 化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

不明。

#### 消火を行う者への助言

化学火災時の標準手順。

### セクション6： 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

十分換気されているか確認すること。常に推奨される個人防護用具を着用してください。個人用保護具を使用すること。詳細については、第8項を参照してください。

#### 環境に対する注意事項

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び器材

不活性吸収剤に吸収させます。

#### 他のセクションを参照

詳細はセクション8を参照。

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

指定された個人保護具を使用すること。

### 混蝕危険物質を含む、安全な保管条件

乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。適切にラベル表示された容器に保管してください。

### 特定最終用途

調査用途のみ。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 管理パラメーター

化学物質名	Japan REL - Ceiling Limits	暴露限界値、生物学的暴露指標
パラホルムアルデヒド 30525-89-4	なし	なし

#### 工学的制御手段

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること

### 暴露防止

#### 個人用保護具

#### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適切な政府規格で検査および承認された呼吸用マスクおよび器具を着用してください。

#### 手の保護

適切な手袋を着用する 手袋の素材：適合する耐薬品性手袋。

#### 眼の保護

密封性の高い安全ゴーグル

#### 皮膚および身体の保護

適切な保護衣を着用する

#### 衛生的手段

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと

#### 環境暴露防止

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

## セクション9： 物理的及び化学的特性

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

外観	液体	
臭い	データなし	
pH	データなし	
融点/融点範囲	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
沸点 / 沸点範囲	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
引火点	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
自然発火温度	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
分解温度	° C 混合物はテストされていません	° F 混合物はテストされていません
蒸発速度	データなし	
燃焼性(固体、気体)	データなし	
爆発上限界	混合物はテストされていません	
爆発下限界	混合物はテストされていません	
蒸気圧	混合物はテストされていません	
相対密度	混合物はテストされていません	
比重	データなし	
溶解度	データなし	
n - オクタノール/水分配係数	データなし	
爆発性	混合物はテストされていません	
その他の情報	データなし	

## セクション10： 安定性及び反応性

反応性	知見なし.
化学的安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応の可能性	危険反応は報告されておりません.
避けるべき条件	利用可能な情報はない.
混蝕危険物質	通常の使用条件下における危険な反応は報告されていません.
危険有害な分解生成物	データなし.

## セクション11： 有害性情報

### 有害影響に関する情報

化学物質名	LD50 (oral, rat/mouse)	LD50 (dermal, rat/rabbit)	LC50 (inhalation, rat/mouse)
パラホルムアルデヒド	= 800 mg/kg (Rat)	データなし	170 mg/m <sup>3</sup>

### 主な暴露経路

刺激	?d “A?E?U?I ‘1??/?U?I?h??
腐食性	決定的ではあるが分類には不十分
感作	皮膚接触により感作を引き起こすことがある
STOT - 単回暴露	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 反復暴露	標的臓器: 呼吸器系
発がん性	Contains a known or suspected carcinogen
変異原性	製品、または製品に含有される化学物質は、ヒトの胚細胞における突然変異の原因となる場合があります
生殖毒性	決定的ではあるが分類には不十分
吸引性呼吸器有害性	決定的ではあるが分類には不十分

## セクション12： 環境影響情報

### 生態毒性

この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

化学物質名	Freshwater Algae Data	Water Flea Data	Freshwater Fish Species Data	Microtox Data	log Pow
パラホルムアルデヒド	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし

残留性・分解性                      利用可能な情報はない。

生態蓄積性                            利用可能な情報はない。

### PBTおよびvPvBの評価結果

利用可能な情報はない。

その他の有害影響                    利用可能な情報はない。

## セクション13： 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

廃棄物を発生させないように努め、可能な限り最小限に抑えるようにしてください。空容器または中の敷物には、製品の残留物が残っていることがあります。残留物およびその容器は、認可された廃棄手順に従って廃棄する必要があります。本製品、その溶液またはその副産物のいずれを廃棄する際も、地元、地域または国/連邦政府が適用するすべての要件に準拠する必要があります。

セクション14： 輸送上の注意

IATA / ADR / DOT-US / IMDG  
Not regulated in the meaning of transport regulations.

UN番号 該当しない  
 国連輸送名 該当せず  
 Transport hazard class(es) 該当しない  
 包装等級 該当せず  
 環境危険有害性 該当せず  
 ユーザーに対する特別な予防措置 該当せず

MARPOL 73/78付属文書II及びIBCコードによりばら積み輸送される  
 該当せず。

セクション15： 適用法令

法規制一覧

濃度・形状により該当/非該当が分かれる成分については法令適用条件を記載しています。該非判定にはセクション3の濃度、およびセクション9の形状をご参照下さい。

化学物質名	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	労働安全衛生法 変異原性物質 - 新規届出化学物質	労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 変異原性物質 - 既存化学物質
バラホルムアルデヒド	非該当	非該当	非該当	変異原性が認められた既存化学物質(1%以下は非該当)

化学物質名	化学物質排出把握管理促進法 - 第1種指定化学物質	化学物質排出把握管理促進法 - 第2種指定化学物質	毒物及び劇物取締法
バラホルムアルデヒド	非該当	非該当	劇物(1%以下は非該当)

化学物質名	消防法 - 危険物	消防法 - 貯蔵等の届け出を要する物質
バラホルムアルデヒド	非該当	指定可燃物、可燃性固体類(指定数量 3000 kg)

セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法(PRT法)、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改定理由 (化学物質等)安全性データシートの内容を更新。

改定日 2017-2-17  
 製品コード 00-18100-54

ページ 7 / 8  
 製品名 FlowRNA II Fix Buffer 1A, 50ml

改定番号 2  
改定日 2017-2-17

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

#### 参考資料

- ・ ECHA: <http://echa.europa.eu/>
- ・ TOXNET: <http://toxnet.nlm.nih.gov/>
- ・ eChemPortal: <http://www.echemportal.org/>
- ・ LOLI database: <https://www.chemadvisor.com/loli-database>

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには十分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上



## 安全データシート

### セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

#### 物質または混合物情報

製品コード 00-18400-53  
製品名 FlowRNA II Fix Buf 2, 12.5ml

#### 会社/企業情報

Life Technologies Corporation  
5781 Van Allen Way  
PO Box 6482  
Carlsbad, CA 92008  
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
住友不動産三田ツインビル東館  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
TEL 03(6832)9300

Affymetrix  
3420, Central Expressway  
Santa Clara  
CA 95051

24 hour Emergency Response for Hazardous Materials Within the USA + Canada: 1-800-424-9300 and +1  
[or Dangerous Goods] Incident. Spill, Leak, Fire, 703-527-3887  
Exposure, or Accident. Call CHEMTREC Outside the USA + Canada: +1 703-741-5970

Country specific Emergency Number (if available):  
CHEMTREC Japan (Tokyo) +(81)-345209637 (日本語)

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures

### セクション2： 危険有害性の要約

#### GHS - 分類

注意喚起語  
危険

危険有害性を表す絵表示





### 健康危険有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
皮膚の感作	区分 1
特定の臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分 2

発がん性	区分 1A
変異原性	変異原性区分2

### 物理的危険有害性

分類できない

### 環境危険有害性

分類できない

### 危険有害性情報

- H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす
- H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H318 - 重篤な眼の損傷
- H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い
- H350 - 発がんのおそれ
- H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

### 注意書き

#### 予防

- P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること
- P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/スプレーを吸入しないこと
- P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること

#### Response

- P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
- P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること
- P333 + P313 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- P314 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること

#### Storage

該当せず

#### 廃棄

- P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

### その他の危険性

該当せず

### セクション3： 組成および成分情報

Component	CAS番号	重量パーセント
パラホルムアルデヒド 30525-89-4 ( 1-5 )	30525-89-4	1-5

すべての化学物質を注意深く取り扱う。

### セクション4： 応急処置

#### 応急措置の記載

##### 皮膚接触 眼との接触

多量の水で洗い流してください。直ちに医師の手当てを受ける必要はない。  
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをつけている場合、外しやすければ、レンズを外してください。

##### 経口摂取

本物質の通常使用での予測される状況で、重大な摂取問題が発生する可能性はありません。気分が優れない場合は医師の診察を受けてください。

##### 吸入

本物質の通常使用での予測される状況で、吸入毒性となる可能性はありません。必要であれば医師にご相談ください。

##### 医師に対する注意事項

症状に応じて治療すること。

#### 急性症状及び慢性症状の最も重要な徴候症状および作用

H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 - 重篤な眼の損傷 H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 - 発がんのおそれ H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

#### 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

### セクション5： 火災時の措置

#### 消火剤

適切な消火剤  
使ってはならない消火剤

水噴霧、二酸化炭素 (CO2)、泡消火剤、粉末消火剤。  
利用可能な情報はない。

#### 化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

不明。

#### 消火を行う者への助言

化学火災時の標準手順。

### セクション6： 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

十分換気されているか確認すること。常に推奨される個人防護用具を着用してください。個人用保護具を使用すること。詳細については、第8項を参照してください。

#### 環境に対する注意事項

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び器材

不活性吸収剤に吸収させます。

#### 他のセクションを参照

詳細はセクション8を参照。

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

指定された個人保護具を使用すること。

### 混蝕危険物質を含む、安全な保管条件

乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。適切にラベル表示された容器に保管してください。

### 特定最終用途

調査用途のみ。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 管理パラメーター

化学物質名	Japan REL - Ceiling Limits	暴露限界値、生物学的暴露指標
パラホルムアルデヒド 30525-89-4	なし	なし

#### 工学的制御手段

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること

### 暴露防止

#### 個人用保護具

#### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適切な政府規格で検査および承認された呼吸用マスクおよび器具を着用してください。

#### 手の保護

適切な手袋を着用する 手袋の素材：適合する耐薬品性手袋。

#### 眼の保護

密封性の高い安全ゴーグル

#### 皮膚および身体の保護

適切な保護衣を着用する

#### 衛生的手段

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと

#### 環境暴露防止

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

## セクション9： 物理的及び化学的特性

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

外観	液体
臭い	データなし
pH	データなし
融点/融点範囲	° C 混合物はテストされていません
沸点 / 沸点範囲	° C 混合物はテストされていません
引火点	° C 混合物はテストされていません
自然発火温度	° C 混合物はテストされていません
分解温度	° C 混合物はテストされていません
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
爆発上限界	混合物はテストされていません
爆発下限界	混合物はテストされていません
蒸気圧	混合物はテストされていません
相対密度	混合物はテストされていません
比重	データなし
溶解度	データなし
n - オクタノール/水分配係数	データなし
爆発性	混合物はテストされていません
その他の情報	データなし

## セクション10： 安定性及び反応性

反応性	知見なし.
化学的安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応の可能性	危険反応は報告されておりません.
避けるべき条件	利用可能な情報はない.
混蝕危険物質	通常の使用条件下における危険な反応は報告されていません.
危険有害な分解生成物	データなし.

## セクション11： 有害性情報

### 有害影響に関する情報

化学物質名	LD50 (oral, rat/mouse)	LD50 (dermal, rat/rabbit)	LC50 (inhalation, rat/mouse)
パラホルムアルデヒド	= 800 mg/kg (Rat)	データなし	170 mg/m <sup>3</sup>

### 主な暴露経路

刺激	?d “A?E?U?I ‘1??/?U?I?h??
腐食性	決定的ではあるが分類には不十分
感作	皮膚接触により感作を引き起こすことがある
STOT - 単回暴露	決定的ではあるが分類には不十分
STOT - 反復暴露	標的臓器: 呼吸器系
発がん性	Contains a known or suspected carcinogen
変異原性	製品、または製品に含有される化学物質は、ヒトの胚細胞における突然変異の原因となる場合があります
生殖毒性	決定的ではあるが分類には不十分
吸引性呼吸器有害性	決定的ではあるが分類には不十分

## セクション12： 環境影響情報

### 生態毒性

この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

化学物質名	Freshwater Algae Data	Water Flea Data	Freshwater Fish Species Data	Microtox Data	log Pow
パラホルムアルデヒド	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし

残留性・分解性                      利用可能な情報はない。

生態蓄積性                            利用可能な情報はない。

### PBTおよびvPvBの評価結果

利用可能な情報はない。

その他の有害影響                    利用可能な情報はない。

## セクション13： 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

廃棄物を発生させないように努め、可能な限り最小限に抑えるようにしてください。空容器または中の敷物には、製品の残留物が残っていることがあります。残留物およびその容器は、認可された廃棄手順に従って廃棄する必要があります。本製品、その溶液またはその副産物のいずれを廃棄する際も、地元、地域または国/連邦政府が適用するすべての要件に準拠する必要があります。

セクション14： 輸送上の注意

IATA / ADR / DOT-US / IMDG  
Not regulated in the meaning of transport regulations.

UN番号 該当しない  
 国連輸送名 該当せず  
 Transport hazard class(es) 該当しない  
 包装等級 該当せず  
 環境危険有害性 該当せず  
 ユーザーに対する特別な予防措置 該当せず

MARPOL 73/78付属文書II及びIBCコードによりばら積み輸送される  
 該当せず。

セクション15： 適用法令

法規制一覧

濃度・形状により該当/非該当が分かれる成分については法令適用条件を記載しています。該非判定にはセクション3の濃度、およびセクション9の形状をご参照下さい。

化学物質名	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	労働安全衛生法 変異原性物質 - 新規届出化学物質	労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 変異原性物質 - 既存化学物質
バラホルムアルデヒド	非該当	非該当	非該当	変異原性が認められた既存化学物質(1%以下は非該当)

化学物質名	化学物質排出把握管理促進法 - 第1種指定化学物質	化学物質排出把握管理促進法 - 第2種指定化学物質	毒物及び劇物取締法
バラホルムアルデヒド	非該当	非該当	劇物(1%以下は非該当)

化学物質名	消防法 - 危険物	消防法 - 貯蔵等の届け出を要する物質
バラホルムアルデヒド	非該当	指定可燃物、可燃性固体類(指定数量 3000 kg)

セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法(PRTTR 法)、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改定理由 (化学物質等)安全性データシートの内容を更新。

改定日 2017-2-17  
 製品コード 00-18400-53

ページ 7 / 8  
 製品名 FlowRNA II Fix Buf 2, 12.5ml

改定番号 2  
改定日 2017-2-17

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

#### 参考資料

- ・ ECHA: <http://echa.europa.eu/>
- ・ TOXNET: <http://toxnet.nlm.nih.gov/>
- ・ eChemPortal: <http://www.echemportal.org/>
- ・ LOLI database: <https://www.chemadvisor.com/loli-database>

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには十分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上



## 安全データシート

### セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

#### 物質または混合物情報

製品コード 00-19185-12  
製品名 FlowRNA Target Probe DiI10.5ml

#### 会社/企業情報

Life Technologies Corporation  
5781 Van Allen Way  
PO Box 6482  
Carlsbad, CA 92008  
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
住友不動産三田ツインビル東館  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
TEL 03(6832)9300

Affymetrix  
3420, Central Expressway  
Santa Clara  
CA 95051

24 hour Emergency Response for Hazardous Materials Within the USA + Canada: 1-800-424-9300 and +1  
[or Dangerous Goods] Incident. Spill, Leak, Fire, 703-527-3887  
Exposure, or Accident. Call CHEMTREC Outside the USA + Canada: +1 703-741-5970

Country specific Emergency Number (if available):  
CHEMTREC Japan (Tokyo) +(81)-345209637 (日本語)

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures

### セクション2： 危険有害性の要約

#### GHS - 分類

注意喚起語  
危険

危険有害性を表す絵表示



#### 健康危険有害性

皮膚の感作	区分 1
特定の臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分 2

発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 1A

**物理的危険有害性**  
分類できない

**環境危険有害性**  
分類できない

**危険有害性情報**  
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H351 - 発がんのおそれの疑い  
H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

**注意書き**

**予防**  
P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること  
P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
P260 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／スプレーを吸入しないこと  
P261 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること  
P280 - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること  
P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと

**Response**  
P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと  
P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること  
P314 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること  
P333 + P313 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること  
P362 + P364 - Take off all contaminated clothing and wash it before reuse

**Storage**  
該当せず

**廃棄**  
P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

**その他の危険性**  
該当せず

**セクション3： 組成および成分情報**

Component	CAS番号	重量パーセント
ホルムアミド 75-12-7 ( 30-60 )	75-12-7	30-60
マレイン酸 110-16-7 ( 0.1-1 )	110-16-7	0.1-1

すべての化学物質を注意深く取り扱う。

## セクション4： 応急処置

### 応急措置の記載

皮膚接触 眼との接触	多量の水で洗い流してください。直ちに医師の手当てを受ける必要はない。 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをつけている場合、外しやすければ、レンズを外してください。
経口摂取	本物質の通常使用での予測される状況で、重大な摂取問題が発生する可能性はありません。気分が優れない場合は医師の診察を受けてください。
吸入	本物質の通常使用での予測される状況で、吸入毒性となる可能性はありません。必要であれば医師にご相談ください。
医師に対する注意事項	症状に応じて治療すること。

### 急性症状及び慢性症状の最も重要な徴候症状および作用

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H351 - 発がんのおそれの疑い H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

### 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

## セクション5： 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤  
使ってはならない消火剤

水噴霧、二酸化炭素 (CO2)、泡消火剤、粉末消火剤。  
利用可能な情報はない。

化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

不明。

消火を行う者への助言

化学火災時の標準手順。

## セクション6： 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

十分換気されているか確認すること。常に推奨される個人防護用具を着用してください。個人用保護具を使用すること。詳細については、第8項を参照してください。

### 環境に対する注意事項

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

### 封じ込め及び浄化の方法及び器材

不活性吸収剤に吸収させます。

### 他のセクションを参照

詳細はセクション8を参照。

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

指定された個人保護具を使用すること。

### 混蝕危険物質を含む、安全な保管条件

乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。適切にラベル表示された容器に保管してください。

### 特定最終用途

調査用途のみ。

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

### 管理パラメーター

化学物質名	Japan REL - Ceiling Limits	暴露限界値、生物学的暴露指標
ホルムアミド	なし	なし

75-12-7 マレイン酸 110-16-7	なし	なし
------------------------------	----	----

工学的制御手段

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること

### 暴露防止

個人用保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適切な政府規格で検査および承認された呼吸用マスクおよび器具を着用してください。

手の保護

適切な手袋を着用する 手袋の素材：適合する耐薬品性手袋。

眼の保護

密封性の高い安全ゴーグル

皮膚および身体の保護

適切な保護衣を着用する

衛生的手段

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと

環境暴露防止

下水管や水路への排出はできるだけ避けてください。

## セクション9：物理的及び化学的特性

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

外観	液体	
臭い	データなし	
pH	データなし	
融点/融点範囲	°C 混合物はテストされていません	°F 混合物はテストされていません
沸点 / 沸点範囲	°C 混合物はテストされていません	°F 混合物はテストされていません
引火点	°C 混合物はテストされていません	°F 混合物はテストされていません
自然発火温度	°C 混合物はテストされていません	°F 混合物はテストされていません
分解温度	°C 混合物はテストされていません	°F 混合物はテストされていません
蒸発速度	データなし	
燃焼性(固体、気体)	データなし	
爆発上限界	混合物はテストされていません	
爆発下限界	混合物はテストされていません	
蒸気圧	混合物はテストされていません	
相対密度	混合物はテストされていません	
比重	データなし	
溶解度	データなし	
n - オクタノール/水分配係数	データなし	
爆発性	混合物はテストされていません	
その他の情報	データなし	

## セクション10：安定性及び反応性

反応性	知見なし.
化学的安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応の可能性	危険反応は報告されておられません.
避けるべき条件	利用可能な情報はない.
混蝕危険物質	通常の使用条件下における危険な反応は報告されていません.
危険有害な分解生成物	データなし.



セクション14： 輸送上の注意

IATA / ADR / DOT-US / IMDG  
Not regulated in the meaning of transport regulations.

UN番号 該当しない  
 国連輸送名 該当せず  
 Transport hazard class(es) 該当しない  
 包装等級 該当せず  
 環境危険有害性 該当せず  
 ユーザーに対する特別な予防措置 該当せず

MARPOL 73/78付属文書II及びIBCコードによりばら積み輸送される  
 該当せず。

セクション15： 適用法令

法規制一覧

濃度・形状により該当/非該当が分かれる成分については法令適用条件を記載しています。該非判定にはセクション3の濃度、およびセクション9の形状をご参照下さい。

化学物質名	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	労働安全衛生法 変異原性物質 - 新規届出化学物質	労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 変異原性物質 - 既存化学物質
ホルムアミド	非該当	非該当	該当(0.1%未満は非該当)	非該当

化学物質名	労働安全衛生法 がん原性に係る指針対象物質	労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物	労働安全衛生法 危険物	労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則	労働安全衛生法 腐食性液体
ホルムアミド		該当(0.3%未満は非該当)			

化学物質名	消防法 - 危険物	消防法 - 貯蔵等の届け出を要する物質
ホルムアミド	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(可燃性液体量が40%以下の場合、非該当)	指定数量 4000 L

セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改定理由 (化学物質等)安全性データシートの内容を更新。  
改定番号 2  
改定日 2017-2-17

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

#### 参考資料

- ・ ECHA: <http://echa.europa.eu/>
- ・ TOXNET: <http://toxnet.nlm.nih.gov/>
- ・ eChemPortal: <http://www.echemportal.org/>
- ・ LOLI database: <https://www.chemadvisor.com/loli-database>

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには十分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上